

INFORMATION 活動報告

地域の“まちづくりびと”養成講座 入門編

2017年6月24日～8月19日

2017年度は緑区の片平学区を舞台に、まちづくりの手法を学び、体験する入門講座を実施しました。講師の特定非営利活動法人プラスまちづくり代表の三田祐子氏は「まちづくりびと養成講座」初代受講生であり、同じく講座修了生の8名がグループファシリテーターとなり、共に講座の企画運営を進めました。

初心者を対象にした基礎コースからの参加者は、まちづくりを進めるうえで、話し合いのコツ、相手の話を傾聴すること等を学ぶワークショップを体験するとともに、まちづくりへの関心や



思いをお互いに共有しました。

3回目からの基礎コースに合流する、経験者を対象とした地域体験コースでのまち歩きでは、ゲスト講師に

片平学区連絡協議会で住民主体のまちづくり活動をされている杉野友昭会長から地域の話聞き、グループで鳴海学区から片平学区界隈のまち歩きを行い、20年後に残したいまちの魅力や解決していきたい課題を発見・整理しました。

最終回では、まち歩きで見つけた、まちの魅力や課題をもとに、自分が3年後どんなまちに住みたいか？自分はそのために何ができるのか？をまち歩きのグループごとに考え、まちの魅力向上や課題解決に向けた個性豊かな提案が発表され、受講生は真面目に、かつ楽しみながら全4回の講座を修了しました。



企画展「みちから名古屋のまちを考える」

2017年7月19日～8月24日

名古屋のまちづくりに大きな役割を果たしてきた「みち」について紹介する企画展を開催しました。広小路通・本町通・久屋大通などの道や、堀川・中川運河といった川について、その歴史や役割を紹介しました。多くの方々に名古屋の「みち」について関心を持っていただく機会を提供できたと思います。



夏休みまちづくりワークショップ

2017年8月2日

小学生を対象に、自分たちの住む「まち」に関心をもってもらうため、「まちづくりワークショップ」を開催しました。

のぞき絵づくりでは、写真やイラストを使って、のぞき穴から見ると立体的に見えるまち並みを作ってもらいました。参加者はそれぞれにまちのテーマを決め、「こうだといいな」という空間を表現しようと夢中になっていました。

また、まち並みづくり体験では、牛乳パックを使ってジオラマを作ってもらいました。カードに書かれたルールを守るため、グループで話し合いながら作業していました。



どちらのワークショップも、参加者に楽しんでもらうことができました。

どちらのワークショップも、参加者に楽しんでもらうことができました。

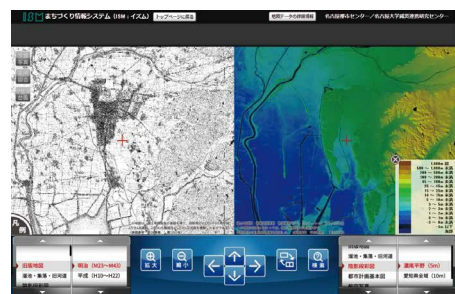
「まちづくり情報システム」をWEB公開!

2017年4月14日～

名古屋大学減災連携研究センターと名古屋都市センターが共同で開発した「まちづくり情報システム (ISM:information system for machizukuri)」が、どこでも活用できるようにWEBで閲覧できるようになりました。

「まちづくり情報システム」は地形図や被害想定図、避難場所や今昔写真などを一つの地図上に表示することができ、地域の特徴を知ることやまち歩きに活用することができます。

まちづくり資料総合案内 (<http://nui-mdc.jp/>) からご利用ください。



画面表示イメージ